

インドネシア共和国

(Republic of Indonesia)

I 概要

1. 人口	約 2.55 億人 (2015 年, インドネシア政府統計)	5. 1 人当たり国内総生産 (GDP)	3,377.1 ドル (2015 年, インドネシア政府統計)
2. 面積	約 189 万平方キロメートル (日本の約 5 倍)	6. 首都	ジャカルタ
3. 政治体制	大統領制, 共和制	7. 通貨単位	ルピア
4. 言語	インドネシア語		

《出典》外務省ウェブサイト (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/indonesia/data.html>) (更新日: 2016 年 5 月 25 日)。

II 教育の普及状況

教育段階	年	在籍率	性別	
			男	女
就学前教育	2013 年	54%	51%	58%
初等教育	〃	106%	106%	106%
中等教育	〃	82%	84%	81%
高等教育	〃	31%	30%	33%

(通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む)

III 教育行政制度

中央には、国家教育省が置かれ、初等教育から高等教育までの施策の立案や実施、財政措置、カリキュラム開発、教員養成、学校監督等、教育制度をほぼ全般的に所管しているが、初等教育から中等教育までのイスラム教に関する学校教育については、宗教省が所管している。

地方には、国家教育省の出先機関として州及び県レベルに事務所が置かれ、教育政策の実施・管理等に当たっている。

IV 学校体系

(学年暦：9月～翌年6月)

インドネシアの学校教育制度は、一般学校と宗教の時間を多く取り入れたイスラム学校（マドラサ）の2つの体系から構成されている。

1. 就学前教育

就学前教育は、4～6歳の幼児を対象に、幼稚園及びイスラム幼稚園で行われる。

2. 義務教育

義務教育は、7～16歳の9年間である。

3. 初等教育

初等教育は、7歳入学で6年間、小学校及びイスラム小学校で行われる。修了時には国家試験が行われ、合格者は前期中等教育への進学を認められる。

4. 中等教育

前期中等教育は、3年間、中学校及びイスラム中学校で行われる。修了時には国家試験が行われ、合格者には、後期中等教育への進学となる前期中等教育修了証が与えられる。

後期中等教育は、3年間、普通教育に重きを置いた一般高校とイスラム高校、また職業技術教育に重きを置いた一般職業高校とイスラム職業高校で行われ、修了時には、一般高校とイスラム高校では後期中等教育修了証が、一般職業高校とイスラム職業高校では後期中等職業教育修了証が与えられる。また、いずれの学校種でも、修了時の国家試験に合格した者には、高等教育に進学するための基礎要件となる国家修了証が授与される。

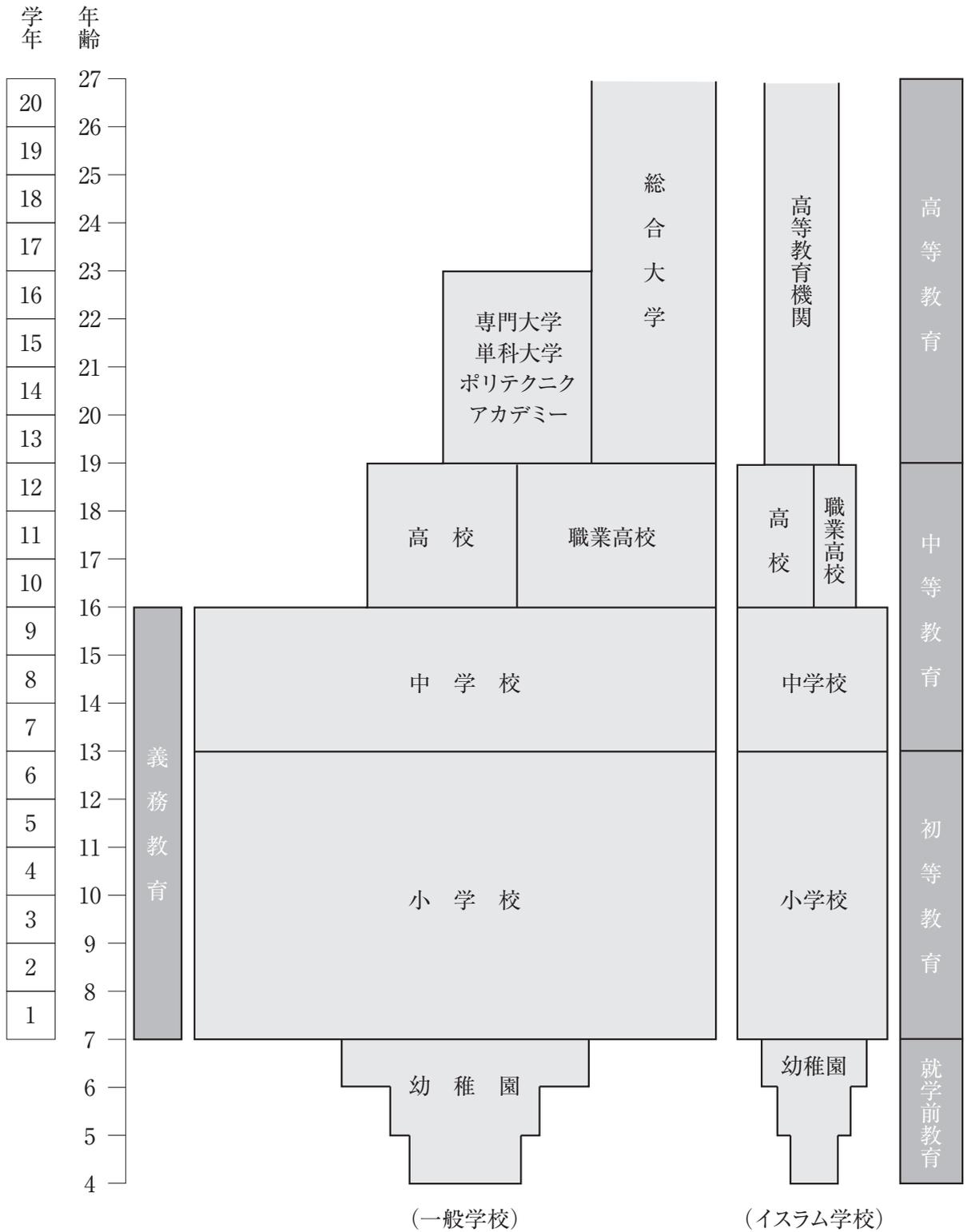
5. 高等教育

高等教育（イスラム系の高等教育を含む）は、総合大学のほか、技術分野及び芸術分野で高等教育及び専門教育を提供する専門大学、1つの専門分野で高等教育と専門教育を提供するカレッジ、特定分野で応用科学教育を提供するポリテクニク及びアカデミーで行われる。入学に際しては、中等教育修了証の取得者を対象に、入学試験が行われる。総合大学では、通常4年で学士相当のS1学位、2年以上で修士相当のS2学位、3年で博士相当のS3学位が授与される。専門大学、カレッジ、ポリテクニク及びアカデミーでは、1～4年の課程が提供されており、1～3年でD1～D4の修了証、4年で学士相当のD4の修了証が与えられる。

《参考資料》

UNESCO, World Data on Education, 7th edition, 2010/11.

V 学校系統図



VI 取得可能な資格・学位

